

令和5年度 第1回いわき湯本温泉ブランド化作戦会議



- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 事務局説明
 - 3-1 本会議の役割りについて
 - 3-2 全体ロードマップ(案)と今年度の予定について
- 4 作戦
 - 4-1 公共空間整備に関するレビュー [2件]
 - 4-2 必要な取り組みに関する意見交換
- 5 閉会



2023年6月15日(木) 10:00~12:00
いわき湯本温泉旅館協同組合 2階 会議室





3 事務局説明

3-1 本会議の役割りについて

3-2 全体ロードマップ(案)と今年度の予定について





3-1 本会議の役割りについて



(1) 本会議の目的と所掌事項

ア 本会議の目的 *設置置要綱第1条関連

- 常磐地区の市街地再生に関する各取り組みが、「いわき湯本温泉」を温泉観光地としてブランド化していく視点を持ちながら、戦略的に推進できるようにすること。

イ 本会議の所掌事項 *設置要綱第2条関連

- ① いわき湯本温泉ブランド戦略の作成に関する事項
- ② いわき湯本温泉ブランド戦略の運用に関する事項
- ③ その他、いわき湯本温泉の魅力や価値を高めるために必要な事項

2022.10～2023.4

ブランド戦略として、「新・いわき湯本温泉まちづくりビジョンブック」を作成

今後はビジョンの実現に向けて、

- ① → 必要に応じて、まちづくりビジョンブックを改訂
- ② → ビジョンブック等を指針に、公共空間の考え方・デザイン等への助言及び提言（レビュー制度の導入）
- ③ → その他、必要な取り組み（不足している取り組み）などについて提案



3-1 本会議の役割りについて

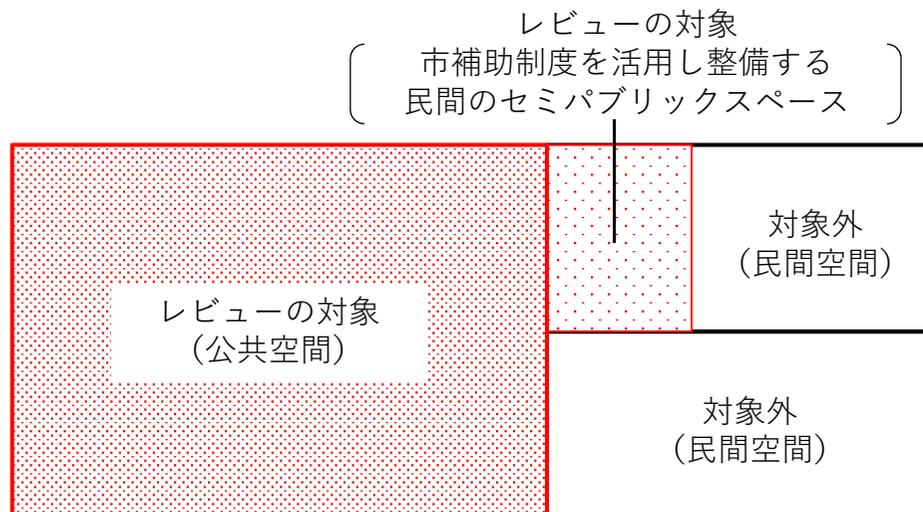


(2) レビュー制度の概要

- 常磐地区の市街地再生整備に関連して整備する公共空間※の考え方やデザインのコントロールを目的に、各プロジェクトの計画段階（設計前の検討）、デザイン決定段階（基本設計）、実施段階（実施設計、工事着手前等）において、本作戦会議委員からの助言・提言を取り入れながらプロジェクト推進を図るもの。
※ 公共空間には公共施設及び公民連携事業による民間収益施設を含む
- 各プロジェクトは、レビュー結果を最大反映し、利害関係者との協議結果やコスト等の視点を踏まえて実施する。

(3) レビューの対象

- レビューは、常磐地区の市街地再生整備に関連する「公共空間の整備」と、市補助制度※を活用し整備予定の「民間の店舗等（セミパブリック空間）の整備」を対象に実施することを基本とする。
※ 現時点では、いわき市都市機能誘導施設等整備促進事業及び、景観形成に係る支援事業（今後検討）を想定





3-1 本会議の役割りについて



(4) 本会議のスキーム

ア これまでの作戦会議

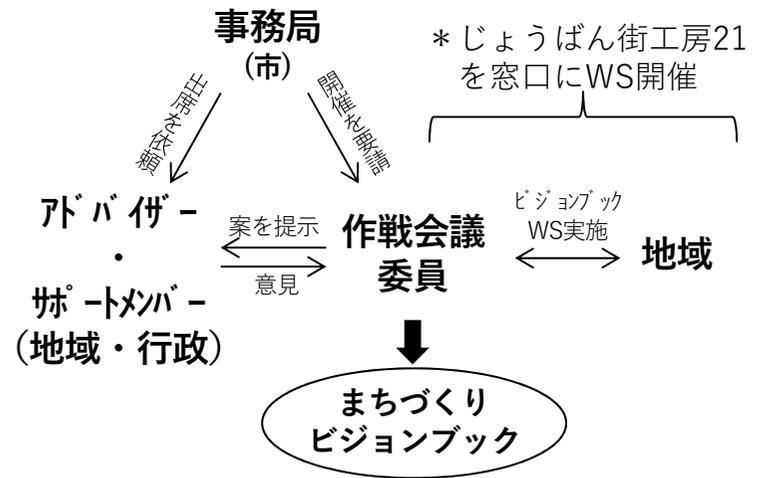
前日夜

- 委員は、いわき湯本温泉の将来ビジョンについて、地域の想いをくみ取るため、地域ワークショップを開催する。

当日

- 委員は、アドバイザー及びサポートメンバーの意見も踏まえ、まちづくりビジョンブックを検討し作成する。

[会議の開催頻度] 1回/1ヶ月



イ これからの作戦会議

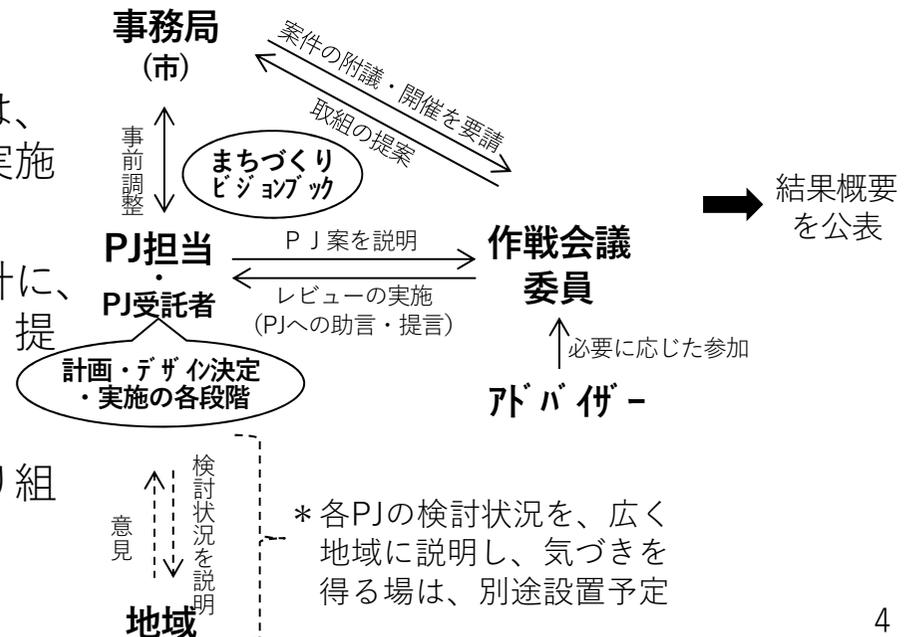
当日前半

- 公共空間整備に係るプロジェクト(PJ)担当は、プロジェクトの段階に応じて、その内容（実施方針）を説明する。

当日後半

- 委員は、まちづくりビジョンブック等を指針に、説明を受けた案件に対し、レビュー（助言・提言）を実施する。
- 委員は、必要な取り組み（不足している取り組み）について、事務局へ提案を行う。

[会議の開催頻度] 3～4回/年程度



3-1 本会議の役割りについて



(5) 本会議開催の流れ

2ヶ月前

事務局とPJ担当者による事前協議

- ・ 事務局とPJ担当者は、会議（事業レビュー制度）へかける必要性や実施する内容などについて事前協議を行う。

1ヶ月前

会議開催の通知

- ・ 市長は作戦会議委員へ会議開催を依頼し、作戦会議（座長）はPJ担当者に対し会議への出席及び説明を依頼する。

作戦当日

第1部) 公共空間整備に関するレビュー

第2部) 必要な取り組みに関する意見交換

10日以内
を目安に

PJに対するレビュー結果（助言・提言）の通知 結果概要の公表

- ・ 事務局は議事録要旨を作成し、座長と協議のうえ、PJに対する助言・提言の内容をとりまとめ、PJ担当者へ通知する。
- ・ 市ホームページに、会議開催の結果概要を掲載する。



3-2 全体ロードマップ(案)と今年度の予定について



(1) 事業全体のスケジュール (案)

- 湯本駅前交流拠点のオープンを、まちづくりビジョンブックに掲げた「2030年」を目標とした場合の事業全体ロードマップ(案)は以下(資料1)のとおり。
- 各プロジェクトの進捗にあわせてレビューを実施する。

駅前エリア
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 湯本駅周辺土地区画整理事業 <ul style="list-style-type: none"> 【関連】急傾斜地対策事業 【関連】交流拠点形成支援事業 ▶ 交流拠点施設(本体)整備事業 ▶ 交流拠点施設(駐車場)整備事業 ▶ 御幸山公園整備事業 ▶ 湯本駅前緑地広場整備事業
▶ 市営住宅(天王崎団地)跡地利活用事業
商店街・温泉街エリア
<ul style="list-style-type: none"> ▶ にぎわい再生事業・観光地域づくり事業 ▶ 魅力ある街並み-道路空間整備事業 空間整備事業 <ul style="list-style-type: none"> (街並み) -景観形成推進事業 ▶ 滞留拠点整備事業(支所跡地利活用) <ul style="list-style-type: none"> 【関連】既存施設解体事業 【関連】防災倉庫整備事業
公有地活用エリア
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公的不動産利活用事業(関船地区) <ul style="list-style-type: none"> 【関連】既存施設解体事業 【関連】周辺道路整備事業
全体調整・計画管理
県事業(無電柱化)
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 都市計画道路 白鳥藤原線整備事業

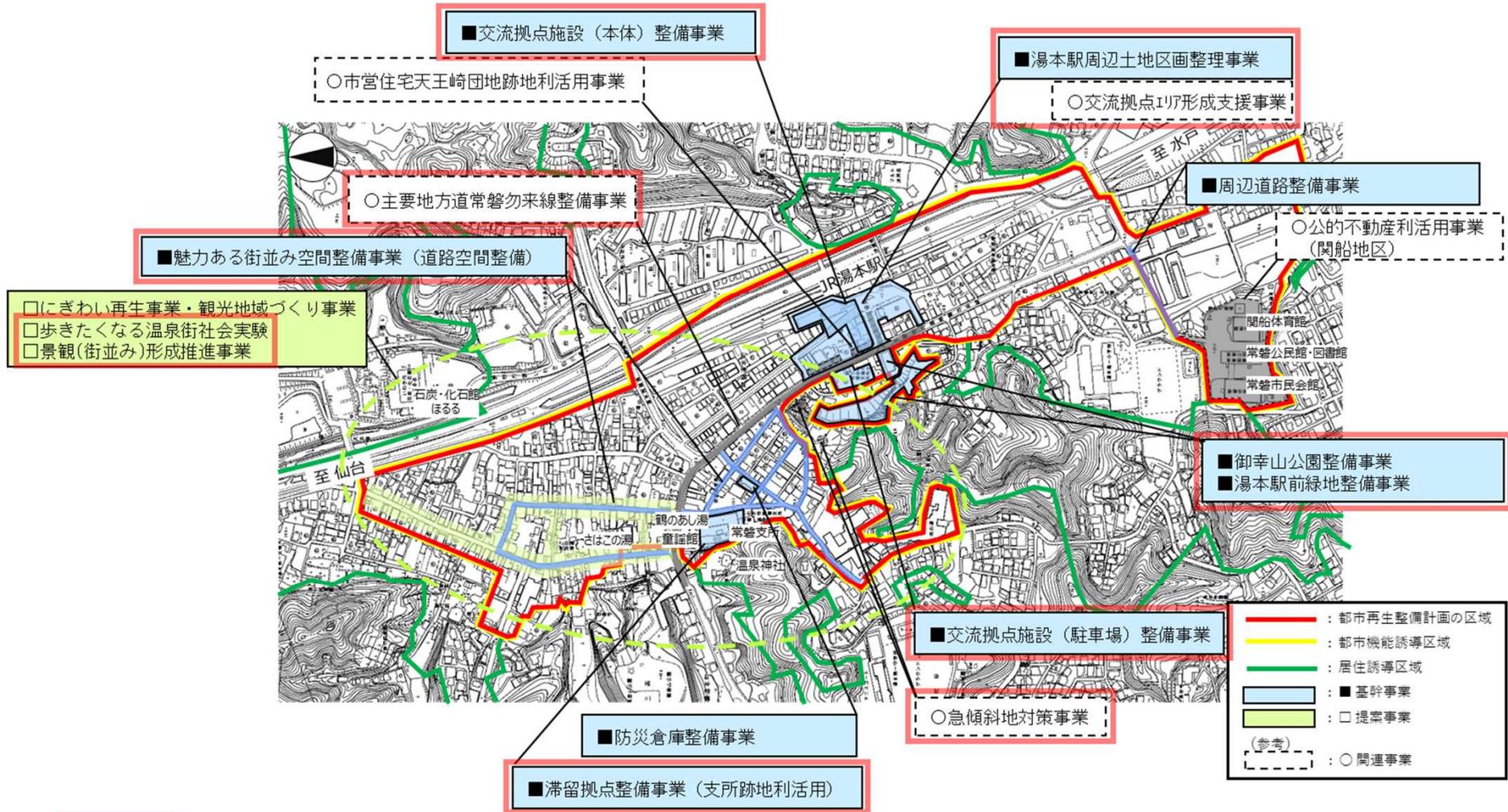
 レビュー対象の
プロジェクト

非公開

注：ロードマップは、今後の関係者等協議により変更となりますので、本資料の取り扱いについてご注意ください。



3-2 全体ロードマップ(案)と今年度の予定について



レビュー対象のプロジェクト

注：事業実施箇所は、今後の関係者等協議により変更となりますので、本資料の取り扱いについてご注意ください。

図 事業全体位置図 (案)



3-2 全体ロードマップ(案)と今年度の予定について



(2) 令和5年度の予定 (案) 注：プロジェクトの進捗等により変更となる

第1回会議 (6.15)

- 急傾斜地法面調査設計の計画（検討の進め方）について
- 交流拠点施設整備の計画（検討の進め方）について

第2回会議 (8月頃) 注：第2回会議以降は、前回会議結果の確認及びフォローアップ状況を事務局より説明

- 常磐地区先導的基盤整備概略検討の検討内容について
(エリアデザインの方向性、湯本駅前広場、御幸山公園・湯本駅前緑地、温泉街道路整備)
- 湯本駅周辺土地区画整理事業基本設計の検討内容について
(幹線道路、区画道路、街区計画)
- 都市計画道路 白鳥藤原線予備設計の検討内容について
(歩道拡幅、無電柱化、交差点改良)

第3回会議 (11月頃)

- 温泉街社会実験の実施内容について
- 交流拠点エリア支援事業（共同店舗計画）の検討内容について
- 急傾斜地法面の予備設計の検討内容について

第4回会議 (2月頃)

- 急傾斜地法面の詳細設計の検討内容について



4 作戦

4-1 公共空間整備に関するレビュー [2件]

- (1) 急傾斜地法面調査設計の計画（検討の進め方）について
[いわき市都市整備課]
- (2) 交流拠点施設整備の計画（検討の進め方）について
[いわき市創生推進課]

4-2 必要な取り組みに関する意見交換

